

ふくしま 地域活動団体 サポートセンター News Letter

平成25年度.vol.3

発行：ふくしま地域活動団体サポートセンター 発行日：2014.1.20



- 復興支援の課題を語り合う「円卓会議」
- いまを駆ける(活動団体紹介)
- Future From Fukushima
～中・長期的な復興・被災者支援の継続を目指して～
- チャレンジ!助成金情報
- 講座のご案内
- お役立ち情報 寄付を促進する認定NPO法人!
- 専門家派遣のご案内
- 編集後記

復興支援の課題を語り合う「円卓会議」寄稿 清水修二氏

避難地域からの住民の帰還をめぐる動きが活発になっていきます。一方で、帰還を断念せざるを得ない地域が生まれることは避けられないとの見方が為政者から公然と示され、第一原発周辺地域の土地の国有化方針も表明されるに至っています。他方、原子力規制委員会は「帰還基準」として年間20ミリシーベルトを採用する考えのようで、これには相当の批判があるでしょう。いずれにせよ、住民避難地域への民間レベルの「支援」は、こうした動向と無関係には進められません。

さて、川内村を会場にして10月25日、地域活動団体の交流会(「円卓会議in川内」)が開かれました。県の担当者を含め、地元川内村の商工会や婦人団体、そして被災地支援を行っているNPOなど22人が円卓を囲み、ほかにも十数人がオブザーバー参加しました。

川内村の現状をリアルに紹介してもらいながら「被災地側から見た支援」の課題を探るのが会議の趣旨です。現地の話からは、とくに「家族」と「生活再建」がキーワードになっていると感じました。新しい仕事を立ち上げようとしても国が足を引っ張る現実もあるといい、「やりたいことができる環境を整えてほしい」との意見が出ました。また賠償金をめぐって被災者同士の間に厄介な問題が生じていることも紹介されました。

「復興ではなく、新しい村づくりだと考えている」と役場の復興対策課長が語っていたことの意味が、分かったような気がします。もともと過疎化が進んでいた地域が、放射能という障害がある中で、「元に戻す」という目標を掲げて、住民は戻っては来ない。「こんな新しい村をつくらう」と、希望の

持てる地域づくりのビジョンを提示しなければ展望は開けない、ということだろうと思います。

情熱を傾けて被災地を支援しようとする諸団体の思いが空回りすることのないよう、今後も情報交流と意見交換を続けていく必要があると感じました。円卓会議はこれで終わりはありません。今後どういう展開にもっていくか、じっくり考えましょう。



座長のご紹介

清水 修二 氏



1980年3月 京都大学大学院経済学研究科博士課程単位取得満期退学

・福島大学経済経営学類教授、放送大学客員教授(経済学系)

・日本財政学会 日本地方財政学会

日本地方自治学会所属

・認定特定非営利活動団体ふくしまNPOネットワークセンター理事

著書に「原発とは結局なんだったのかーいま福島で生きる意味ー」(東京新聞2012)など多数。

次回
円卓会議
の開催

「復興支援ネットワーク交流会 円卓会議」 inいわき

日程・時間／2月10日(月) 午後1時～4時30分

場 所／いわき市生涯学習プラザ(ティーワンビル内)

“いまを駆ける”

■NPO法人 こころの森

会津坂下町

NPO法人「こころの森」は、平成15年7月より民間組織で構成する「まちづくり委員会・福祉のしくみづくりプロジェクト」として、高齢者支援・障害者支援・子育て支援を3本柱に「町民だれもが安心して暮らせる町づくり」「子育てするなら会津坂下町」を目指し、まずは子育て支援のモデル事業からスタートしました。

平成16年3月にNPO法人の認証をいただき、会津坂下町で「顔の見える地域の中での助け合い」をスローガンに地域資源の一助として携わらせていただく中、ことし8月、10年間の活動が実を結び、大変光栄なことに福島県知事から平成25年度新「うつくしま、ふくしま」県民運動知事感謝状をいただきました。

これを励みとし今後においても、多くの仲間たちと一緒に「笑顔の交換」を大事にしながら地域の支援の輪を広げていきたいと思っています。とのことでした。更なるこころのキャッチボールに期待します。



▲キビタンキビママと一緒に♡



▲この笑顔のために活動します！

■朝日座を楽しむ会

南相馬市

南相馬市の「朝日座」が相双地方で初めて登録有形文化財になることが決定しました。決定をお祝いする会には、多くの市民が祝福に集まりました。

大正末期、地元有力者らによって芝居小屋兼写真館として建てられた「朝日座」は、今年、90歳になる木造建築物です。長年、「歌舞伎や映画」、「生涯学習の場」と文化の拠点として活躍してきましたが、市民に惜しまれつつも平成3年に閉館をしております。「朝日座を楽しむ会」は生涯学習まちづくり講座の受講生有志によって立ち上げた市民活動団体です。県内外の団体や多くの方々の協力で、大屋根の修復など保全を進め、現在、上映会、寄席、コンサートなどが実施されております。

地域の景観の一部として存在してきた「朝日座」は、さまざまな人々の思い出を吸い込んだ建物です。保存し活用することで、その歴史を現在へとつなげる活動がはじまっています。さらには、歴史的建造物が多い原町において、この朝日座を契機に、多くの建物を回遊できるように町並みを保存することが期待されます。



▲ますます注目される「朝日座」です！



▲なつかしの写真。思い出がいっぱい！

Future From Fukushima.

～中・長期的な復興・被災者支援の継続を目指して～

■「すかがわ地域交流促進プロジェクト」事業紹介

地域交流館ボタン

松明太鼓がとどろき、勇壮な炎が燃え盛る日本三大火祭りの松明あかし。重さ3トンの巨大な大松明が練り歩き、須賀川市中心通り「松明通り」に市民の憩いの場「地域交流館ボタン」があります。

震度6強の激しい揺れがおそった東日本大震災で大きな被害を受けた市総合福祉センターに代わり、市民が交流する拠点を整備したいとの思いから、昨年9月にオープンしております。



▲「地域交流館ボタン」

多様な地元団体との連携・協働事業

同館を運営している「すかがわ地域交流促進プロジェクト実行委員会」は、商工会議所青年部が中心となっており、市の教育委員会や女性会、ボイスカウト・ガールスカウト、明るいまちづくりの会など、多様な地元団体が連携してできた協議体です。

須賀川市は「市民との協働」によるまちづくりを目指しております。今回の交流促進プロジェクトを通じて、各団体それぞれが



▲なつかしの駄菓子がいっぱい！



▲昨年の出張教室での一コマです

復興・再生に向けて、高い運営力を有するNPO等の育成が期待されています。現在、おこなわれている福島県地域づくり総合支援事業（ふるさと・きずな維持・再生支援事業）の活動のようすをお伝えします。

連携・きずなを深めることで、地域課題を解決する取り組みが期待されます。

寺子屋・イベント企画

やや低いテーブルには、なつかしの駄菓子がいっぱい！並べられてい！ ▲英語でこいさつ！
ます。子どもたちが安心して買い物体験でき、音遊びなどもできる寺子屋です。館内には、市民が気軽に利用できるテーブルも用意されています。

今年9月には、地元の若手農業者との交流会を開催し、農業の情報発信を行っております。特に地元特産のきゅうりを使ったアイディア料理には注目を集めました。さらには来年に向けて「JAXAによる宇宙教室」や「アクアマリンふくしま 出張教室inすかがわ」など、多くのイベントが予定されています。子どもから高齢者まで幅広い方が楽しめそうです。



“ボタン”の意味とは？

同館の名称にもなっている「ボタン」は、市花になっている豊蔵大輪の牡丹をイメージして名付けられております。さらに、震災から復興・再生へと向かう「スタートボタン」の意味も込められているそうです。

平成28年度に「市民交流センター」（仮称）が完成予定です。是非、「地域交流館ボタン」での交流の成果をつなげることが期待されます。

チャレンジ! 助成金情報

これからでも申し込みできる助成金情報です。
内容は抜粋していますので、詳細については、
実施団体やホームページでご確認ください。



これからでも間に合う助成金情報

◆社会福祉助成金

名称・支援元	2013年度社会福祉施設等の改造・修繕等に関する助成事業募集：日本財団
対象事業	社会福祉施設等において、主に障害の多様な特性と心身の状態に応じて必要とされる基本的な環境を整備するために改造することを目的とします
申込期間	2013年9月2日から2014年3月31日まで随時受け付けます。
上限金額	障害者施設：30,000千円（補助率80%）など
参考URL	http://www.nippon-foundation.or.jp/what/grant_application/programs/

◆環境問題助成金

名称・支援元	平成26年度地球環境基金助成金募集：独立行政法人環境再生保全機構
対象事業	民間団体が行う環境保全に資する活動（別途指定あり）。
申込期間	平成26年1月6日（月）～平成26年2月12日（水）（必着）
上限金額	50万円～300万円など
参考URL	http://www.erca.go.jp/jfge/subsidy/application/h26_info.html

◆社会福祉助成金

名称・支援元	社会貢献基金助成募集：一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会
対象事業	研究助成事業、高齢者福祉事業、障害者福祉事業など
申込期間	平成25年10月1日～平成26年2月末日（必着）
上限金額	総額およそ10,000千円を目途とし助成を行います。（1件当たりの助成額上限は2,000千円とします。）
参考URL	http://www.zengokyo.or.jp/social/promotion/01.html

名称・支援元	平成26年度助成金（後期）：公益財団法人ヨネックススポーツ振興財団
対象事業	青少年スポーツの振興に関する事業等（対象期間：平成26年10月～平成27年3月）
申込期間	平成26年6月30日（当日消印有効）
上限金額	指定の期間に予定する一つの事業予算の2分の1で概ね百万円以内とします。
参考URL	http://www.yonex.co.jp/pdf/joseikin_2014_01.pdf

<これから開催する! 講座のご案内>



皆さんの参加をお待ちしております!!
詳しくは「ふくしま地域活動団体サポートセンター」まで!

基礎からはじめる!「ファシリテーション」講座実施のご案内

開催日時・会場	2月3日(月) 〔福島市〕 A・O・Z(MAXふくしま4階) 2月6日(木) 〔郡山市〕 郡山市民文化センター 2月7日(金) 〔会津若松市〕 会津稽古堂 生涯学習総合センター *講座時間はすべて<13:00～16:30>です。
---------	---

講師 遠藤智栄さん・地域社会デザイン・ラボ代表

「事業展開のための戦略的企画立案」講座実施のご案内

開催日時・会場	2月14日(金) 〔南相馬市〕 原町生涯学習センター 2月15日(土) 〔福島市〕 福島市民活動サポートセンター 2月19日(水) 〔会津若松市〕 勤労青少年ホーム *講座時間は<13:30～17:00>です。会津会場のみ終了が16:45になります。
---------	--

講師 紅邑晶子さん・特定非営利活動法人 せんだいみやぎNPOセンター代表理事

参加
無料

参加
無料

お役立ち情報

寄付を促進する認定NPO法人！

～寄付者のメリットを知り、取得基準をクリアしよう～

認定NPO制度を知っていますか？

認定NPO法人には、一般のNPO法人にはない税制上の優遇があります。また、「寄付者」に対しても大きな優遇があるなど、様々な利点を有しております。

今後さらに注目をされる「認定NPO制度」ですが、一方で、制度に対しての認知度が十分ではないとの指摘もあります。

現在、全国で認定を受けたNPO法人は574法人（所轄庁認定318法人、国税庁認定256法人、平成25年12月27日現在）で、約4万8千あるNPO法人のわずか1.1%となっております。

寄付者増加のカギともなる「認定NPO制度」を今回は取り上げてみました。

○寄付する側の税制優遇とは？

- ・個人寄付：所得税では「寄付金所得控除」が「税額控除」を選択できます。
- ・法人寄付：一般寄付金の損金算入限度額とは別枠の損金算入限度額があり、範囲内で損金算入が認められます。

○寄付を受ける認定NPO側の優遇とは？

認定NPO法人は、みなし寄付金制度を活用できます。

NPO法改正以降、福島県においては、新たに6法人が認定を受け、合わせて7法人の認定NPO法人が活発に活動を展開しております（平成25年12月27日現在）。

県内の認定NPO団体をご紹介します！

●国税庁認定NPO法人

特定非営利活動法人 ふくしまNPOネットワークセンター

●福島県認定NPO法人

特定非営利活動法人 みどりの杜福祉会
特定非営利活動法人 いわき自立生活センター
特定非営利活動法人 えんじょいらいふ福祉会
特定非営利活動法人 バンダハウスを育てる会
特定非営利活動法人 ふくしま成年後見センター
NPO法人 フロンティア南相馬

もっと詳しく知りたい

福島県のHPへ

「福島県 認定NPO」と
検索して下さい

認定（仮認定）申請をお考えの方は、まず、事前相談（予約制）をお願いします。→福島県庁文化振興課 024-521-7179



文化振興課の
皆さんです！

専門家派遣のご案内

企画・運営・会計・情報発信について

“無料”で専門家に相談できるチャンス!!

当センターへ電話・FAX・メールで、お問合せ下さい



ふくしま地域活動団体サポートセンター

運営受託：認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター

〒960-8043

福島県福島市中町8番2号 福島県自治会館7階

TEL：024-521-7333

FAX：024-523-2741

E-Mail：saposen@f-npo.jp

U R L：www.f-npo.jp/saposen/



QRコードから携帯サイトを
ご覧いただけます。



編集後記

- 皆様のおかげでようやく締めて来ることができました。ありがとうございました。（円治）
- 永日。少しずつ日が長く感じられ、何故か、得した心持になる時期ですね。（J）
- うがい・手洗いでさまざまな感染を予防しましょう。冬が来れば暑も遠くないのです。（J）
- 試練は呼びかけ！「喜くとも幸せ」な生活をめざし、今日より明日へ自己ベスト更新したいものです。（半）
- 11月より参加しています。皆様のご意見、ご要望を伺い、より良いセンターを目指してまいります。（K）